

令和7年2月度

ネットパトロール記録

概要（傾向・事例等）

以前にもお伝えしましたが、県内青少年のインスタグラムの非公開（鍵アカ）率は年々増加傾向にあり、近年は7割を超えています。公開アカウントでも投稿が0件のアカウントが多くなっています。プロフィールに氏名や学校、学年などを記載しているケースもめっきり少なくなりました。青少年が自分のプライバシーを公にしないよう注意するようになってきていると推測しています。

しかし、進学や進級時期には、新しい交友関係を結ぶために、一時的ではあれ、プロフィールへの個人情報の記載やアカウントの公開がされることがあります。とくに進学に伴いSNSでの交流が活発になる新中学生にその傾向が見られます。また、受験のプレッシャーから解放された中学三年生や高校三年生は、プロフィールに「春から〇〇高（大学）」といった記載をすることも目立ちます。

インターネットに公開した情報は、想定外の人に見られることがあります。大学の学生ホール等でサークルの勧誘に来た先輩が、新入生のSNSプロフィールを見て、出身地域などを把握した上で、好ましくない活動に勧誘する、といった報道も見られます。

今月のおねがい

～「可能性」にはリスクも含まれます～



県内青少年のプライバシー意識の高まりがここ数年で深まっているのは上述の通りです。

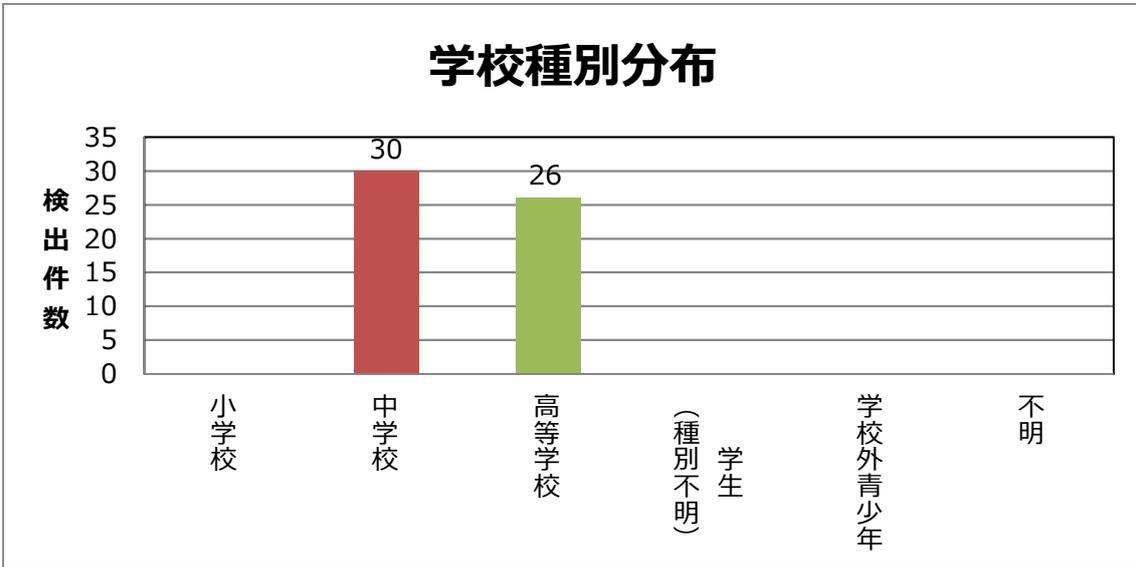
しかし、対面での新たな交友関係を取り結ぶ場合でも、お互いの趣味や嗜好をSNSで伝え合うためには、一時的であれプライバシーの公開が避けられないこともあります。想定外の人に見られる可能性（危険性）をコントロールすることはできませんが、可能性（危険性）に留意することで、いやな気持ちになったり、犯罪被害にあったりする可能性（危険性）を低減できます。可能性には危険性（リスク）も含まれることに留意願います。

検出件数

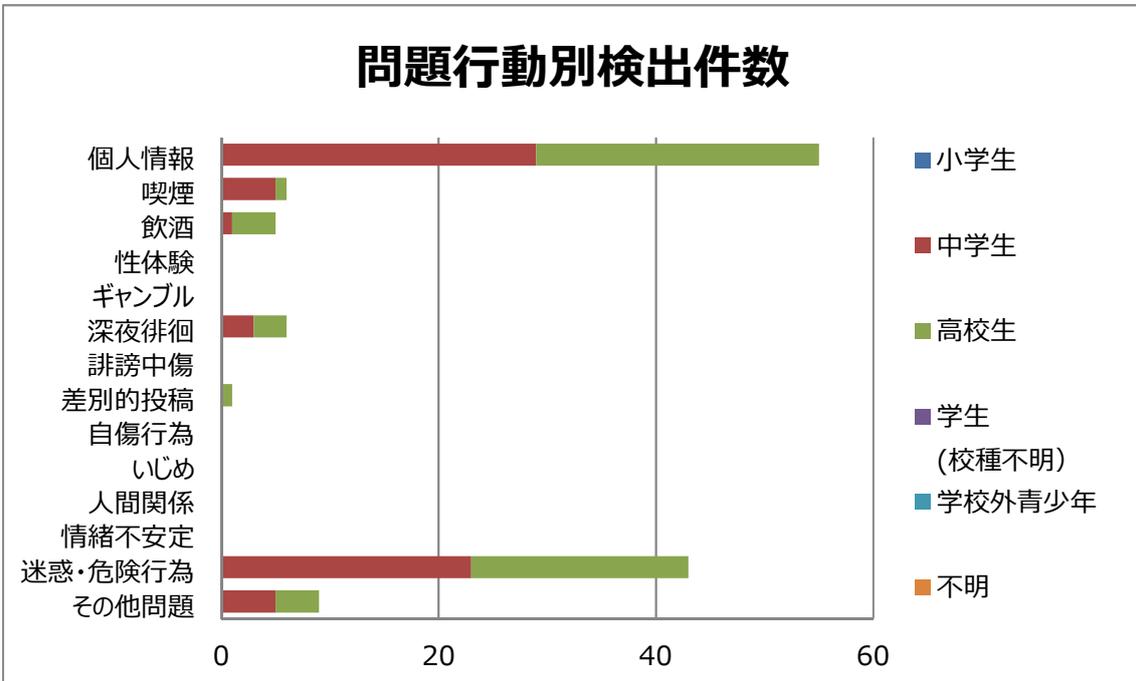
2月の検出件数は **56** 件でした。



学校種別検出件数

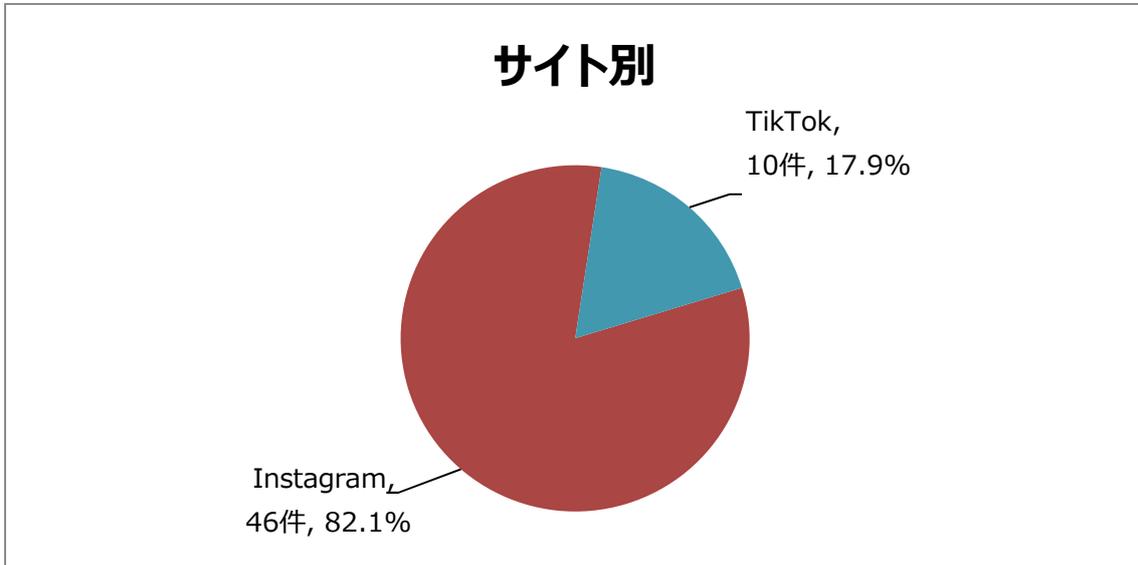


問題行動別検出件数





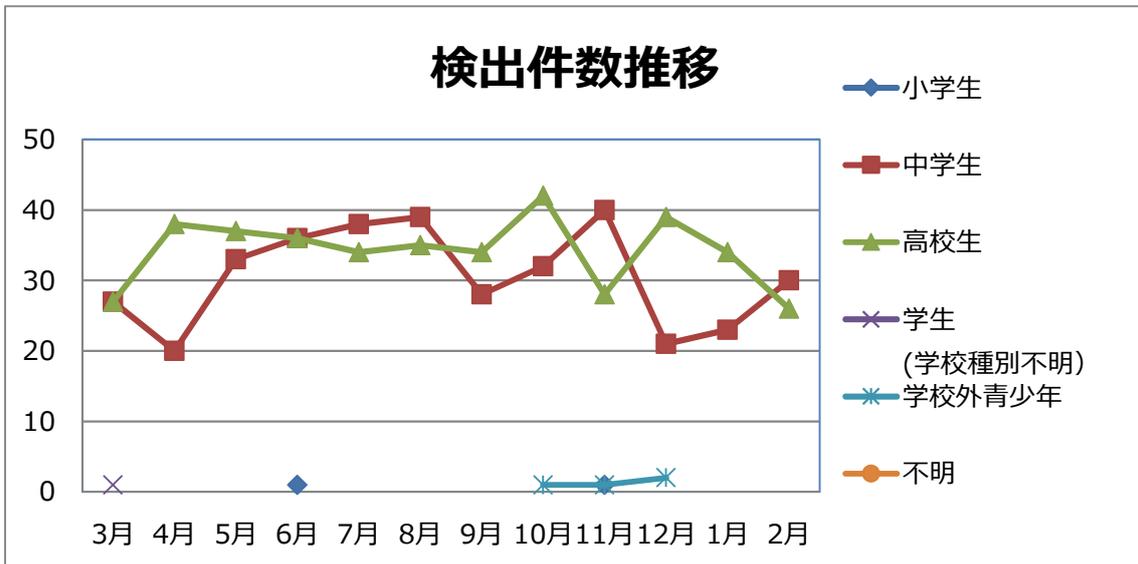
サイト別



※四捨五入のため合計が100%にならないことがあります。



検出数推移



以上